

◆ ケアマネジャーのための情報誌 ◆

2010.12.1発行

# ケアマネ SAPPORO

発行

札幌市介護支援専門員連絡協議会

事務局

札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部

札幌市中央区大通西19丁目

札幌市社会福祉総合センター内

TEL 011-612-6110

FAX 011-613-5486

## 第67号

## 地域ネットワークをつなぐ ～孤独死を防ぐ～

手稲区第2地域包括支援センター  
センター長 泉 京子

はじめに

今回、このテーマを頂き、今年開催された北海道介護支援専門員協会 通常総会記念講演に「キーパーズ」吉田太一氏が孤独死後の遺品整理専門サービスセンターとして会社を立ち上げ、活動をされている内容を思い出しました。我々介護支援専門員が地域ネットワークの一員として何かできることはないのかとネットワーク作りのきっかけになれば幸いです。

具体的な内容に入る前に、統計上の数値を見てください。平成22年10月現在、日本の総人口は1億2738万人であり、65歳以上の人口は2930万7千人、札幌市の人口は平成22年7月1日現在、189万5861人であり、65歳以上の人口は38万1718人、さらに、75歳以上は17万7588人の人口推移です。

高齢者世帯数(国勢調査)では、平成12年度、独居高齢者4万6564世帯・夫婦高齢者5万7597世帯、平成17年度、独居高齢者6万1584世帯・夫婦高齢者7万0002世帯とあり、独居高齢者世帯の急激な増加がみられています。

子供との同居率は、昭和56年は約70%であったものが、平成17年では45%まで減少しています。ここには、家族意識の変化や社会変化が大きく関わってきています。1970年代(昭和45年頃から)から我々は高度成長経済のもと、核家族化が進み、都市部への集中、少子化、夫婦高齢化、独居世帯と変化してきた様子があります。その結果、近隣と交流が少なくなり、人間関係のトラブルに巻き込まれない様に、自分を守るのみを考える方もみられています。

一方高齢者の地域との交流はどうなっているのでしょうか。『孤独死』とは「独り暮らしの人がだれにもみとられることが無く、当人の住居内等で生活中の突発的な疾病によって死亡する事である」とフリー百科



事典に記載されています。特に発病直後に助けを呼べずに死亡するケースがこのように呼ばれています。

孤独死という言葉が広まったのは、阪神・淡路大震災からでした。被災者は、仮設住宅に長期間生活を余儀なくされ、住環境の違いやいろいろな地域から来るためコミュニティが希薄になります。そのため、隣人の異変に気づき難い状況となり、最近見かけないと思った時には、すでに亡くなるケースが多かった様です。

そのため孤独死が起きやすいとされる環境は、  
①地域コミュニティの希薄な地域②震災災害などで、避難場所が地域コミュニティの中で分断された地域。

また生活様式では、①高齢者②单身男性③親族が遠方の方④定年退職や失業で職を持たない方⑤慢性疾患をお持ちの方⑥アパートなど隣家に無関心な方とされています。

以前NHKスペシャルで無縁社会～無縁死～の放映がありました。

「身元不明の死者」「行き倒れ死」を新たな死のカテゴリにしていました。それは日本が急速に絆を失いつつある無縁社会だそうです。かつて日本が築いてきた「地縁」「血縁」といった地域や家族・親類の絆と「社縁」社会との絆も喪失しつつある、とされています。

そこで介護支援専門員は何をするのか、何が出来るのか、を考えなければならないと考えます。介護支援専門員が利用者を担当する場合、健康状態の把握、緊急時の連絡先等情報など情報収集とアセスメントによるサービスの提供開始になります。

高齢夫婦世帯や独居高齢者世帯の確認は親族との距離や関係性、近隣との関係性、避難所の確認、町内会との関係性、民生委員児童委員との連携(民生委員児童委員では介護保険サービスが開始すると、訪問はしなくなると聞いた事がありますが)と、地域の協力員として連携を進んでとる意識が重要です。また、福祉のまち推進センターの協力員とは見守り活動の中心として地域の心強いところであるため、連携は重要と考えます。

このように、介護保険サービスのみならず、地域の協力をいただき色々なお立場の方からの広い見守りを活用させていただく様に、介護支援専門員は意識して関わる必要があります。地域の中で孤立していても、介護保険サービスだけを利用していれば、生活支援は完結されます。

しかし24時間365日介護保険サービスで賄うものではありません。いざというとき(病気、転倒、災害)近隣、地域社会が無くてはならない存在である事を対象者に伝え、ご自身も外に出た時や集まりがあるときに、「頼みます」と一声かけておきましょうと伝える役割が介護支援専門員にはあります。さらに、地域に暮らす利用者やご近所さんや民生委員さんなど対象者も介護支援専門員がアプローチする役割もあります。

最後に、テーマのきっかけになった「キーパーズ」吉田太一氏の話をお伝えいたします。

男性でアパートに一人暮らし、年金で生活されていきました。暑さが続き徐々に体力が衰え、部屋で息絶えて逝きました。アパートの住人や近所の方との交流がなく1カ月以上姿を見なくても誰も気にする人はいなく、気づききっかけは、その部屋からの悪臭と異常なほどのハエの発生だったそうです。このような状況になる前に、1日でも1時間でも早く発見してあげたい、と話されていました。

これは他人ごとではなく、もし対象者の方がもう少し気づくのが早ければと、担当ケアマネジャーはとても後悔します。同時に近所の方も同じく後悔することになると思います。

**できるところから始めませんか？  
介護支援専門員からの、  
孤独死を予防する地域ネットワーク作り。**

参考資料

- ・厚生労働省大臣官房統計情報部「国民生活基礎調査」
- ・平成22年度版札幌市の高齢者保健福祉
- ・平成22年10月20日総務省総務

## 札幌市からのお知らせ

### 「札幌市地域包括支援センター」の イメージキャラクター・愛称が決定いたしました!

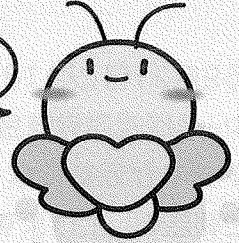
市内に21か所設置している札幌市地域包括支援センターが、高齢者やその家族、地域の関係機関の皆様にとって、より身近な相談窓口となり、また、広く知っていただくことを目的に、センターのイメージキャラクターと、その愛称を市民より公募し、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 公募結果

- (1)応募期間: 平成22年7月1日(木)~8月6日(金)
- 応募総数: 131点
- (3)選定方法: 選定委員会を設置し、委員7名により、市民に親しまれるキャラクターデザイン・愛称であるか等の観点で審査

#### イメージキャラクターと愛称

ほっターです  
よろしくね!



<ほっターの由来>

介護や福祉の支援を求めている高齢者やそのご家族を明るく照らし、道しるべとなってくれる「ホタル」をモチーフにしました。

センターの窓口は、優しさや広く愛をイメージさせるハート型で、窓口の扉となる羽を大きく広げて、高齢者やご家族の訪れを待っています。

訪れて「ほっ」と胸をなでおろす空間と「地域包括支援センター」の「ター」を重ね、「ほっター」と名付けられました。

(手稲区 石川 多賀子さんの作品)

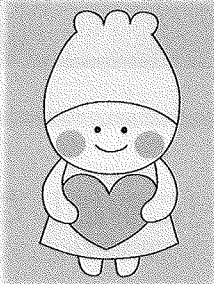
「ほっター」

#### 札幌市介護保険課ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/kaigo/k100citizen/k171ciiki.html>において、リーフレットを掲載しております。

## 札幌市社会福祉協議会からののお知らせ

札幌市社会福祉協議会では、日常生活の延長上で「なにげなく気にかける」程度の見守りや、「向こう三軒両隣」のちょっとした意識で、一人暮らしの高齢者の安否を確認し、異変に気づいた際には、関係機関に連絡をいただける「地域見守りサポーター」を養成しています。



地域見守りサポーター  
マスコット  
「まもりん」

#### 地域見守りサポーター事業の目的

- 1 地域福祉の理解促進  
より多くの市民に、少子高齢化等に伴う地域の福祉課題の状況を伝え、地域福祉に関心を持ってもらう。
- 2 問題を抱える高齢者等に対する発見(アンテナ)機能の強化  
日常の様々な生活場面での何気ない見守りを通じて、問題を抱える高齢者等を発見した際、適切な対応により、問題を最小限に抑える。
- 3 福まち活動の理解と参加促進  
地域での福祉活動の中心的役割を担う「地区社協」「福まち」への理解促進を図り、福まち活動への参加希望者を福まちへ伝え、新たな担い手の確保を図る。

#### 地域見守りサポーターの養成目標人数

5,000人(H22年度~H24年度)

#### 地域見守りサポーターの要件

市内に在住の概ね中学生以上で、養成研修を修了した方

#### 地域見守りサポーター養成研修について

- ・出張研修を行っておりますので、ご利用ください。
- ・講師及びテキストについては無料ですが、受講希望者には、研修会場を手配いたします。
- ・テキストによる説明及び地域での助け合い活動のビデオを使った研修となっています。研修時間は約60~90分ですが、時間はご希望に合わせて変更ができます。

#### 地域見守りサポーター養成後

研修終了後は、研修で学んだことを日常生活の様々な場面において活用してもらいます。また、ボランティア活動を希望する方はボランティア登録し、区社会福祉協議会において、ボランティア活動や地区福祉のまち推進センターを紹介します。

#### 【連絡・問い合わせ先】

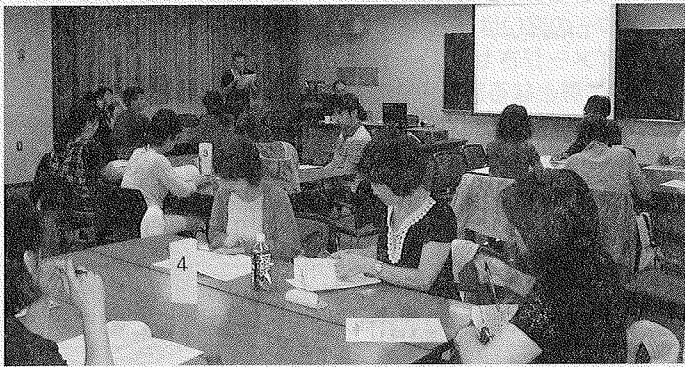
札幌市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係  
TEL 614-3344 FAX 614-1109

## 平成22年度 第1回

## 「施設ケアマネが元気になるための懇談会」開催

猛暑と言われた今年の夏も気付けば初冬となりましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

去る9月21日(火)18:30より札幌市社会福祉総合センター4階視聴覚兼会議室において開催された「施設ケアマネが元気になるための懇談会」について簡単にご報告申し上げます。



初めての試みとなるこの懇談会は「施設ケアマネは、同一施設(事業所)に一人か二人しか配置されていないことが多く、不安や悩みを解消できずに孤立している」ともいわれます。この施設ケアマネの孤独、施

設ケアマネが抱える問題・悩みを交換し共有しあうとともに、この孤独や課題・悩みを解決していくための機会となれば…。という目的で開催いたしました。

講師に特別養護老人ホーム厚別栄和荘、瀬戸施設長をお招きし、施設系介護支援専門員38名の参加の中、活発な意見交換がなされました。

次回は平成23年1月20日(木)に「札幌市内の介護保険施設が相互に連携するとともに介護保険に関する情報を共有化し、もって介護保険のサービスの質を向上」を目的とした、平成22年度「介護保険施設講演会」の開催を予定しております。振るってのご参加をお願い申し上げます。(文責 研修担当 姉崎重延)



## 参加印象記

## 「施設ケアマネが元気になるための懇談会」に参加して

老人保健施設げんきのでる里 施設ケアマネジャー 高橋 健吾

9月21日(火)に札幌市介護支援専門員連絡協議会の主催のもと施設に勤務するケアマネの情報交換の場として「施設ケアマネが元気になるための懇談会」が18:30より札幌市社会福祉総合センターで開催された。

私達施設で働くケアマネにとっては今回のような参加対象が「施設ケアマネのみ!」という懇談会は珍しく、居宅のケアマネも多く参加される研修会などの案内はよく目にするが施設のケアマネだけに特化した情報交換の場という事で、他の施設のケアマネさん達と「とにかく色々な話がしてみたい」という思いから同僚と参加させていただいた。

会自体は厚別栄和荘の瀬戸施設長の講演後、グループ毎に分かれ自分の勤務している施設の紹介や日々の業務

の内容などを述べたあと、テーマ「横のつながりを強めていくには」に沿ってグループ討議が始まった。

横のつながりという事に関して言えば、施設ケアマネ自体それぞれが1施設に1名ないし2名程度しか配置されていなく、専従の方もいるが他の職種と兼務されている方が多く、私の勤務する施設でも100名の入居者に対し、私を含め2名の施設ケアマネが介護職と兼務をしながら日々ケアマネジメント業務を行なっている。しかし、業務のほとんどが施設内で行うものであり、居宅のケアマネや外部の事業者との連絡・調整のほとんどはソーシャルワーカーなどが担っているので私自身が外にでて他のケアマネとのネットワークを広げる機会は居宅のケアマネに比べると極端に少ない状況であり、そういった

現状からさらに施設ケアマネとのつながりとなるとほぼ皆無に等しいので、施設におけるケアマネジメントなどに関する悩みの相談をする相手もごくわずかに限られる。

そのような悩みはグループ討議をしていく中で他の施設ケアマネも感じていることであると知り、その話になると皆さん急に討議？に熱が入り、施設ケアマネ特有の悩みを打ち明けていった。

私のグループは老健や特養など大型施設に勤務している方や有料老人ホームに勤務している方など様々であったが、悩みの1つとしてやはりケアマネジメントには欠かせない「カンファレンスの適切な実施」があり、私の職場の老健でも週1回、曜日と時間を決めて実施しているのだが介護職と兼務している自分自身も含め他職種の方も突然の業務などにより予定の時間に間に合わなかったり、欠席したりという事も多く、居宅ケアマネさんから見れば同じ職場にほとんどの職種が揃っている施設はカンファレンスの日程調整もスムーズにいきそうだとおっしゃるが…意外そうではないのが辛いところである。

カンファレンスのスムーズな実施ということで他の施設ケアマネさんからも状況を聞き参考にさせていただいたが、同じ老健のケアマネさんも私と同様な悩みをかかえている事を知り、妙な親近感を感じて気持ちが少し楽になったのも事実である。

他にも色々な話がされ、そのような話し合いの流れから今回の懇談会は参加者それぞれの「お悩み相談室」のような形になってしまったが、施設ケアマネだけが集まり討議するという機会には私にとってはとても有意義で、予定時間などとても足りないと感じるくらい楽しい時間を過ごせたことにまずは介護支援連絡協議会の担当の方々に感謝をさせていただきたい。

またこのような話の場を求めている施設ケアマネは他にもきっと大勢いると考え、施設ケアマネの横のつながりを強化するという意味でも担当の方々にはぜひ今後もできればもっと身近な地域レベルで定期的に今回のような懇談会の実施をしていただきたく、期待をさせていただくところであります。

## 知っ得伝説

### 認知症加算 (150単位)

- 利用者から「自分は独居ですよ」とケアマネさんへ話があった場合に算定できます。
- そのため、ケアマネさんは、利用者の同意を得ることができた場合、「住民票等証明請求(申出)書」と「委任状」(ともに各区役所やインターネットで取得できます)について、利用者に記入・捺印してもらい住民票を取りに行きましょう。住民票は世帯全員で取ることをお勧めします。
- 例えば、住民票上は息子と2人暮らしになっていますが、長年単身赴任で本州にいる。という場面もあるでしょう。その時は、訪問時、「アセスメントの結果、今も独居だ!」とアセスメントやモニタリング内容について記載します。
- 札幌市では、毎月の訪問でアセスメントした結果を支援経過記録に毎回記入することを指導しています。



住民票を取っちゃだめって利用者さんに言われたらどうしたらいいの?

同意なしでは住民票を取ることもできないですからね。

そうだね。利用者やご家族に分かるように説明したのかな?



説明したのだけど…。

それでもだめならケアマネ自身でアセスメントした結果を記入することで加算が取れるのよ。

そうだよ。家族等と同居している利用者比べて生活状況等の把握や支援が困難で、訪問や電話等特にケアマネの労力を要する独居高齢者に対する評価加算だからしっかり自分達の仕事を評価してもらいましょう。



じゃあ、相談員が居るケアハウスなどは加算できないってことね。

そのとおり、アセスメントできているね。

次回68号は「アセスメント一式について」つぶやきます。



札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会

平成22年度「第2回全体研修会」

《目的》団塊の世代が75歳以上となり高齢化がピークとなる2025年。2025年の高齢者介護を支えるための「地域包括ケア」の実現とはどのようなことなのか？  
2010年3月に発表された「地域包括ケア研究会報告書」に基づき、介護保険制度のこれからについて、ともに考えていくことを目的に開催します。

《主催》札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会

《定員》300名

(定員になり次第、締め切らせていただきます)

《共催》札幌市社会福祉協議会、  
札幌市介護支援専門員連絡協議会

《内容》講演「**どうなる介護保険制度？**

～2025年の地域包括ケアとは？～」

《日時》平成22年**12月14日(火)**  
18:30～20:00(受付18:00～)

講師 **医療法人 湊仁会 法人本部  
ソーシャルワーク支援部 部長  
社会福祉士・精神保健福祉士  
奥田 龍人 様**

《会場》**札幌市社会福祉総合センター** 大研修室(4階)  
札幌市中央区大通西19丁目1-1  
(地下鉄東西線「西18丁目」駅下車 徒歩3分)  
※お車でのご来場はご遠慮ください

《参加費》無料

《申込方法》同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。

《申込期限》平成22年**12月9日(木)**

《申込先》札幌市介護支援専門員連絡協議会事務局  
札幌市社会福祉協議会 地域ケア推進部自立支援課地域ケア係  
札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター2階  
【担当】中路、谷 ☎011-612-6110 FAX 011-613-5486



平成22年度札幌市在宅福祉活動団体連絡会講演会

**無縁社会の現状 ～遺品整理業者の視点から～**

日時 **12/21(火) 18:30～20:00**

テーマ **「無縁社会の現状」**  
～遺品整理業者の視点から～

講師 **株式会社ルーツ・オブ・ジャパン**  
代表取締役 **湊 源道 氏**

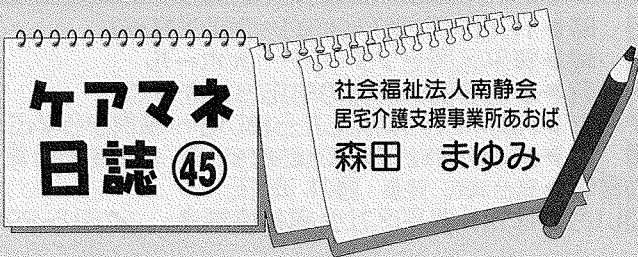
開催場所 札幌市社会福祉協議会ボランティア研修センター  
中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2階

申込方法 12月17日(金)までに、電話またはFAXにて、  
団体名及び参加者名を下記までお申し込み  
下さい。

参加費 300円

申込先 札幌市社会福祉協議会ボランティア研修センター  
(事務局) **電話 011-223-6005**  
**FAX 011-261-8881**

高齢化社会が進む日本で、誰にも看取られることなく死亡する「孤立死」や「身寄りのいない人の死」の現状など、誰もが迎える死について、遺品整理業者の視点から現代社会の問題点を再考します。



介護保険制度が始まり、だいぶ経ったなあと思う今日この頃です。当事業所はH12年からA区で営業させていただいております。開設当初は近隣の市営住宅に風呂がなく、風呂がわりのデイサービスの利用者の申し込みがたくさんあったようです。私が当事業所で働かせてもらうことになった頃には、市営住宅の建て替えが進んでいるところでした。デイサービスを利用したいという、自主的に？サービスを選んで利用を申し込む利用者は少なくなってきていました。居宅の利用者も伸び悩んでいるこのごろです。

○月○日

秋も終わりに近づいたある日のことでした。トレーンコートに身を包み、白のチノパン風のズボンをはき、軍手で訪れた60歳代の男性がいました。92歳の要介護3の母親を介護しているとのことでした。(スタッフはなんか変わっている人だなあという印象をうけたようです。私は感性の老化現象で、何も思わずにいたのです。)母親のデイサービスと居宅の利用の申し込みでした。

すでに、介護保険証には居宅の印字がありました。前居宅に情報提供してもらったところ、虐待の記録と代々変更した居宅の記録が届きました。私にとっては大変勉強になる当たりの利用者を引いちゃったかなと思いました。

案の定、先日、高齢者虐待対応ケース会議を開くことになってしまいました。

△月△日

今年は暑いなあと思って仕事に励んでいたところ、ヘルパーを頼みたいという利用者から電話がありました。スタッフに担当をまかせました。スタッフによると家の中は足の踏み場もないほど散

らかっており、家から出て靴下を見ると、ほこりとも体のアカ？ともわからない白い物がびっしりと付いていたようです。

この利用者も介護保険証には居宅の印字がありました。今回の情報提供は、区役所で行われました。何かあるなあと思っていたところ、アルコール依存症の方で、A区以外でも保健福祉系の業界では大変有名な方だったのです。(ちょっと大袈裟かな？)サービスは開始されても利用者の中では、いろいろな苦情が発生し、サービスの変更が続いていました。ケアマネも一度は利用者に解雇されましたが、このごろ再びラブコールがきて、ケアマネが復活したところでした。

この2人の利用者と家族はA区でも、名だたる老舗の居宅を経過しサービスを利用してきた方々だということがわかりました。内心、うちの事業所も有名な方々に選んでもらえる事業所になったんだなあ複雑な気持ちで喜んでいるところです。(喜ぶことなのだろうか？)A区の皆さん、次はあなたの事業所が選ばれる事業所になるかもしれませんよ。その時はよろしくお願いしますね。

最近では喜ぶことが少なくなりました。事業所の経営が思わしくなく、居宅は居宅で経営が成り立つようと、グループの御上からのお達しで悪戦苦闘の日々です。選ばれる事業所？になりつつあるのにと、スタッフと一緒に自分たちの仕事をほめなければ、ほめてくれる人がいないので頑張っているのに……という思いでいます。

ケアマネ日誌をお読みの皆さん、居宅の経営が黒字になる方法がありましたら教えてください。

# 掲示板コーナー

日時の末尾に(※)が付いている定例会は、他区支部の会員も参加できますので、ご確認のうえ、ご参加ください。

なお、非会員も参加可能ですが、参加費を1回につき1,000円とさせていただきますので、ご承知おきください。

会員は従来どおり無料です。(交流会等で参加費がかかる場合もあります。)

## 中央区支部定例会

日時▶12月15日(水) 18:30~20:30  
会場▶中央区民センター 2F つどいA・B  
内容▶中央区ケアプラン指導研修  
テーマ▶処遇困難事例を通して連携を考える  
～社会資源の有機的な連携とは～  
講師▶北海道医療大学 石川 秀也 氏  
問い合わせ先▶中央区社会福祉協議会 ☎281-6113

## 北区支部定例会

日時▶12月8日(水) 18:30~20:30  
会場▶北区民センター 3F区民ホール  
内容▶北区ケアプラン指導研修  
テーマ▶実地指導から見た、介護支援専門員における法令遵守  
～介護支援専門員同士の連携、サポートを考える～  
講師▶(財)札幌市在宅福祉サービス協会 本部事業課長 伊藤 孝子 氏  
問い合わせ先▶北区社会福祉協議会 ☎757-2482

## 東区支部定例会

日時▶平成23年2月23日(水)  
会場▶東区民センター  
内容▶事例検討会  
テーマ▶未定  
講師▶調整中  
問い合わせ先▶東区社会福祉協議会 ☎741-6440

## 白石区支部定例会

日時▶平成23年1月20日(木)《※》  
会場▶白石区民センター 集会室A  
内容▶未定  
テーマ▶高齢者向け住宅について  
講師▶未定  
問い合わせ先▶白石区社会福祉協議会 ☎861-3700

## 厚別区支部定例会

日時▶12月16日(木) 18:30~20:30  
会場▶厚別区民センター  
内容▶厚別区ケアプラン指導研修(講義とグループワーク)  
テーマ▶在宅と施設ケアマネの連携  
講師▶北海道医療大学 教授 石川 秀也 氏  
問い合わせ先▶厚別区社会福祉協議会 ☎895-2483

## 南区支部定例会

日時▶12月14日(火) 18:30~20:30  
会場▶南区民センター 区民ホール  
内容▶南区ケアプラン指導研修  
テーマ▶その人らしさが見えるケアプラン作成～事例からの気づき～  
講師▶キタライフ 代表 鈴木 眞弓 氏  
問い合わせ先▶南区社会福祉協議会 ☎582-2415

## 豊平区支部定例会

日時▶12月8日(水) 18:30~20:00《※》  
会場▶豊平区民センター2F 大ホール  
内容▶事例を使い虐待の対応方法を学ぶ  
テーマ▶「虐待にどう対応したら良いか～事例から学ぶ～」  
講師▶社会福祉法人栄和会 厚別区第2地域包括支援センター センター長 石崎 剛 氏  
助言者▶高台病院 院長 藤井 充 氏  
問い合わせ先▶豊平区社会福祉協議会 ☎815-2940

## 清田区支部定例会

日時▶①平成23年1月12日(水) 18:30~21:00  
②平成23年2月16日(水) 18:30~20:00  
会場▶①つぼ八②清田区役所 2A室  
内容▶①新年交流会②事例検討会  
テーマ▶②未定  
講師▶②事例提供者 小規模多機能型居宅介護「できげん」真栄 佐々木 勇太 氏  
問い合わせ先▶清田区社会福祉協議会 ☎889-2491

## 西区支部定例会

日時▶12月7日(火) 18:30~20:30  
会場▶西区民センター 大ホール  
内容▶西区ケアプラン指導研修  
テーマ▶「処遇困難事例を通して連携を考える」  
～アルコール依存のある利用者に対してあなたはどのように向き合いますか～  
講師▶札幌太田病院 院長 太田 秀造 氏  
問い合わせ先▶西区社会福祉協議会 ☎641-2400

## 手稲区支部定例会

日時▶①平成22年12月7日(火) 18:30~20:30  
②平成23年1月18日(火)《※》  
会場▶①手稲保健センター 2F講堂  
②手稲区民センター 第1・2会議室  
内容▶①手稲区ケアプラン指導研修  
②講義  
テーマ▶①知っているようで知らない、各分野のケアマネの仕事  
②個人と職場のメンタルヘルスとモチベーション  
講師▶①シンポジスト 各分野4名  
②キタライフ 代表 鈴木 眞弓 氏  
問い合わせ先▶手稲区社会福祉協議会 ☎681-2400

## 事務局からのお知らせ

### ①変更届けについて

勤務先やご自宅住所に変更が生じた場合は、変更届にご記入のうえ、郵送またはFAXでご提出ください。変更届(様式)は本会のホームページ(<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>)からダウンロードできます。

### ②メール相談について

最近のケアマネメール相談は個性の高い制度解釈に関するものが多く、かつ、メールでの断片的な情報のため、回答までの調整に時間を要しています。このような事例では事務局も行政に回答内容を確認していることから事例によっては、行政窓口の紹介により直接相談していただけるように対応いたしますのでご了承ください。